

ひとはく通信

ハーモニー

110

Sep. 2020

展示特別企画

ひよひづぐの草原

〜人が育んだ草原と生き物の歴史〜



— 侵入生物と標本 —

2017年、私のところに神戸港に陸揚げされた中国コンテナに潜んでいたアリが、環境省から同定のために送られてきました。そのアリこそ、日本で初めて侵入が確認された特定外来生物ヒアリでした。さらに2019年には、スペインが原産地のハヤトゲフシアリが神戸港で発見されました。このアリもヒアリと同様に攻撃性が高い外来アリです。貿易大国である日本は、今や外来種大国であり、神戸港を有する兵庫県は外来種との戦いの最前線にあるのです。外来種対策では、その正体を素早く暴き、早期に駆除することが唯一の方法です。

人博には100万点を超える世界中の昆虫の標本が収蔵されており、見知らぬ昆虫が発見されたときに、外来種であるかを正確に同定することができます。ヒアリも、すぐに私が同定できたことで素早かつ確な対策が実施されました。博物館の収蔵資料は、私たちの安全

な暮らしを外来種から守るためにも活用されているのです。

橋本 佳明 (自然・環境評価研究部)



写真 ヒアリ(上)とハヤトゲフシアリ(下)

兵庫県では、既に南米原産のアルゼンチンアリが侵入定着し、被害を発生させています。最近になって、ヒアリやハヤトゲフシアリのような新入の外来アリも次々と見つかっています。神戸港を有する兵庫県は、危険な外来種が身近に出現するリスクの高い地域なのです。

トピックス

新入館員 自己紹介



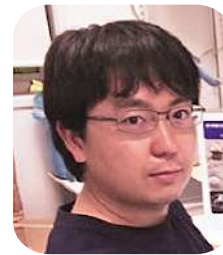
自然・環境評価研究部
山崎 健史

クモ類などを専門に研究しています。兵庫県のクモ類や昆虫類をはじめ、世界中の節足動物を研究し、皆さんと知識を共有できたらと思います。



自然・環境マネジメント研究部
高田 知紀

「合意形成」についての研究を行っています。実際に現場に出て、いろんな方々と共に活動しながら、地域づくりのお手伝いをしたいと思えます。



自然・環境マネジメント研究部
頼末 武史

フジツボなどの海産無脊椎動物の幼生に関する研究をしています。博物館勤務は初めてでわからない事が多いですが、どうぞよろしくお願いたします。



自然・環境マネジメント研究部
衛藤 彬史

農業・農村の課題解決・価値創造に向けた実証的な研究に取り組んでおり、農山村での資源管理や交通等を主なテーマに、持続的な運営方法について研究しています。



自然・環境マネジメント研究部
京極 大助

昆虫・植物・数理シミュレーションなどを使って繁殖に関係する進化や生態の研究をしています。統計や進化理論などの理屈が得意です。



フロアスタッフ

花田・宮浦・鎌森・小倉・築紫・福本

私たちはフロアスタッフとして接客部門を担当しています。来館される皆さまに楽しんでいただけますよう、笑顔で頑張ります。